

令和7年度 秋田商業高等学校 キャリア教育全体計画



○教育目標

(1) 後期中等教育段階として求められる一般的な教養と教科商業が求める専門的な知識、技術及び技能を習得させる。
(2) 建学の精神である「感謝」「勤勉」「鍛錬」の意味を具現化させながら、豊かな人間性、創造性、健やかな身体を養い、志と使命感を育む。
(3) 社会事象についての広く深い理解と健全な判断力を養う。

○今年度の重点目標

(1) 生命を尊重する心や他者を思いやる広い心を養うとともに、あいさつや礼儀を重んじ、心身の鍛錬に励み、心身ともに健全で人間性豊かな生徒の育成に努める。
(2) 秋商キャリア教育の実践を通して、幅広い教養と確かな学力の向上を図り、自己の進路目標に真剣に取り組む生徒の育成に努める。

○キャリア教育の目標

本校での3年間の高校生活の中で、様々な学習・経験を通して、社会的・職業的に自立するために必要となる能力や態度を育む。
--

○各学年の重点目標

1年	(1) 基本的生活習慣を確立させ、集団生活を通して規範意識や社会性を育成する。 (2) 基礎学力の定着を図るとともに、主体的に学習する姿勢を養う。 (3) 資格取得を促し、進路希望実現のために自己理解を深め、進路意識の高揚を図る。
2年	(1) 毎日を丁寧に過ごし、他者を尊重して行動する意識を養成する。 (2) 進路選択を見据えて学力向上と資格取得に取り組む姿勢を促す。 (3) 爽やかな立ち居振る舞いと整容を心がけ、他者から応援される人間・集団を目指す。
3年	(1) 学力を向上させ、上位資格の取得を目指す。 (2) 社会で求められている人物像を理解し、行動する。 (3) 自分の可能性を引き出し、最適な進路を実現する。

○進路指導の重点目標

(1) 進路意識の早期確立を図り、学年や進路志望に応じた継続的な指導を行う。
(2) 主体的な進路決定のために的確な進路情報を収集し、提供する。
(3) 学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。

○秋商で身に付けるべき力と基礎的・汎用的能力について

	【A】人間関係・社会形成能力	【B】自己理解・自己管理能力	【C】課題解決能力	【D】キャリアプランニング能力
国語科	他者の意見を読み聞かして的確に理解し、自らの考えを明らかにして適切に表現し、伝える力を育てる。	意見を発表し合い相互に評価することにより、自分と他者の立場や価値を見出せる。	自学習慣を確立し、予習によって課題を発見し、授業において分析・解決し復習によって知識・理解の定着を図る。	よりよい社会生活を営むために、本や新聞を読む習慣を身につける。また、情報を取捨選択し、活用する力を育てる。
地歴公民科	我が国と多様な世界の歴史的過程・地理的背景を学び、良識ある社会人としての基本的な知識を身につけることで、「多様な立場の人間を理解し協働して社会を形成していく能力」を育成する。		資料や図を読み取り、原因－結果を探究する思考力を培うことで、「主体的な課題解決能力」を身に付けさせる。	優れた先人の業績や世界の地理、現代の社会を学ぶことで、困難を乗り越える「生きる力」を身に付けさせる。
数学科	数学的な考え方や知識を通して、数学を活用して社会をよりよく生きる知恵を育成する。自らの考えや判断の前提を明確にし、根拠を示しながら説明できる力を身に付けさせる。		数学を学ぶことを通して、将来の学習や生活に数学を積極的に活用できるようにするとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるように努め、課題解決能力を身に付けさせる。	
理科	自然の事物や現象についての学習を通して科学的な自然観を身に付け、日常生活や社会との関わりを理解するとともに、人間の存在や自己の在り方についての深化を図る。		グループ学習による実験や観察を通してコミュニケーション能力を高めるとともに、自然に対する関心や探究心を高め、課題解決能力の向上を図る。	
保健体育科	武道を通して礼儀作法や相手を尊重する態度を育てるとともに、球技ではチーム・集団における自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとする姿勢を身に付けさせる。		自分の学習活動を振り返り、課題や成果について自己評価を行い、新しい課題に向かって学習しようとする課題解決能力と探究心を育てる。	
芸術科	演奏や作品制作の活動を通して自己表現の能力を高め、他者とコミュニケーションをとりながら活動する態度を身に付けさせる。	さまざまなジャンルの音楽および書道の作品に触れることで、日本の芸術の歴史的価値を理解するとともに、他の国々の芸術文化を感受し、理解を深める態度を養う。		
英語科	身近な事柄について英語でコミュニケーションを図る力を身に付けさせる。	英語で自己表現することを通して自己理解を深め、主体的、積極的に行動する態度を養う。	英語学習を通して国や文化の異なる人々とも積極的に交流し意見を交わす態度を養うとともに、グローバル化が進み複雑に状況が変化していく中で情報を適切に取捨選択する能力を養う。	
家庭科	一生を通じて自分が他者と関わりながら生きていることに気づかせ、感謝の心や思いやりの心を持たせる。	体験的な学習を通して、成就感や達成感を持たせ、前向きに努力しようとする姿勢を養う。	家庭生活の充実向上のために、必要な情報を収集しながら計画を立て、実践しようとする姿勢を養う。	家庭生活における課題を解決するために必要な人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を身に付けさせ、自分自身の人生観と生活観を考えさせる。
商業科	ビジネスに関する学習を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、職業人としての望ましい人間関係の構築の必要性を理解させる。	ビジネスの意義や役割を学習することで、自分自身の可能性を肯定的に捉えさせ、働くことへの意欲を持たせる。また、法令遵守や説明責任等企業の社会的責任の重要性を理解させ、自己の行動に活かそうとする態度を育てる。	現状を把握するための情報を収集し適切な形に加工する知識・技術を身に付けさせる。さらに、社会に目を向け、よりよい社会にするためには何をすべきかを考える態度を育む。	専門的な学習や上級資格を取得することで、高校での学習と職業を結びつけて考える力やスペシャリストを目指す意欲を醸成させる。
ビジネス実践	さまざまな立場の人とのつながりを通して、持続可能な社会の実現に向けた活動を行う中で、他者と協力し、チームで働く力を身に付けさせる。	外部とのつながりの中で、自己理解を深め、社会で自己の特性を活かそうとする意欲を持たせる。	ユネスコスクールとしての自覚を持ち、持続可能な社会の実現を目指し、現在の課題を発見・分析し、解決しようとする積極的な態度を育む。	ビジネス実践活動を通して、働くことの意義と働くことの喜びを体験し、社会人基礎力を育む。

※「ビジネス実践」は総合的探究の時間の活動を指すものであり、1年：ビジネス実践基礎講座、2～3年：「AKI SHOP」「キッズビジネスタウン」「エコロジカルビジネス」で構成されている。